

【2014・Vol.03】

 医療法人 清仁会 水無瀬病院

—S A K U R A—

—広報誌—

さくら

Contents

ドクターズコラム

当院の取り組み

地域包括ケアシステムとは

編集後記

診療担当医表

私たちは、「安心」の二文字をモットーに、

地域社会の発展と皆様の健康を守るために

よりよい医療・福祉サービスを提供します。

「ドクターズコラム」

— 認知症の家族への接し方 —

アルツハイマー型認知症に代表される認知症の主な症状は記憶障害ですが、介護される家族を悩ませるのは周辺症状と呼ばれる認知症に随伴する症状のようです。周辺症状とは不安感や抑うつ、徘徊、妄想、暴言、暴力などで、記憶障害よりも家族の負担となることが多くみられます。ではこれらの周辺症状を防ぐにはどのようにしたらよいのでしょうか。認知症の症状が進むと理解力は次第に衰えてきますが、怖い・悲しい・嬉しいなどの感情は残ります。本人は同じことを尋ねたりしている自覚はありませんから、なぜ叱られたのか分からず不安感や焦燥感が増して周辺症状が進んでしまいます。間違っただけを言われても笑顔で頷いてあげましょう。また本人が持つ不安感を軽くするには記憶が残る昔の話で会話することが良いようです。火の消し忘れなどで認知症の人を叱っても、また同じことを繰り返すので意味はありません。それより事故が起こらない環境を作る方が重要です。



愛する親や配偶者が認知症になり介護することはとてもストレスが多く悲しいことです。ついなさけなくなって「さっきも言ったでしょう！」と叱ってしまうことは家族ゆえの当たり前のことです。だからこそ介護する方は心に余裕をもって対応し続けるためにも介護保険などを利用して一人で介護を抱え込まないようにするべきでしょう。

脳神経外科 細谷 和生 医師

「当院の取り組み」

院内感染委員会より

看護部では毎月、速乾性手指消毒剤使用量の調査をしております。今まで使用量が少ない状況があり増えない理由として必要時に消毒剤が近くにない、手荒れがするなどの声がありました。そこで、感染委員会で手指消毒剤のサンプルを数種類検証し消毒剤の変更をおこないました。



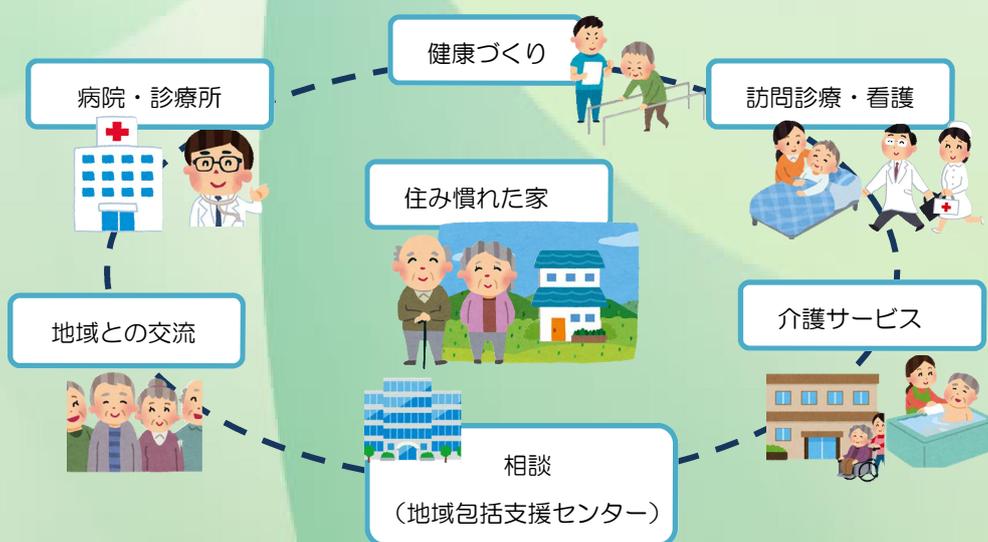
いつでも、どこでも使用できる環境をつくり簡便で確実、実効性が高い効果が得られるよう手指消毒剤を携帯するウエストポーチを導入しました。感染対策の中で手指消毒は簡単でしかも重要な方法です。患者さんにとって安心のできる環境づくりの一環として、これからも安全確保に努めていきたいと思っております。



「地域包括ケアシステムとは・・・」

今後、急速に高齢化が進行する中、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）を目途に、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援の5つのサービスを一体的に受けられるよう医療や介護が連携を図り在宅生活を主軸として支えていく制度です。具体的にどんなものなのでしょうか？

- 住まい 高齢になっても地域で住み続けることができる住まいの整備（サービス付き高齢者住宅など）
- 医療 在宅で受けられる医療の充実（円滑な入退院調整強化、在宅医療、訪問看護、リハビリテーションの充実 連携強化）
- 介護 在宅サービスの強化（24時間定期巡回型訪問介護巡回サービスなど）
- 介護予防 できる限り要介護状態にならないための予防プログラムや自立支援型介護の促進
- 生活支援 独居や夫婦二人暮らし世帯、認知症の方のいる世帯に対する身回りや配食サービス、緊急通報システムなどの介護保険以外のサービス



地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県**が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要とされています。



地域において、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援（老人クラブ、いきいき百歳体操、自治会など）が切れ目なく提供するために、各々の事業所がおおむね30分以内に存在すること（中学校区内）が理想的です。

清仁会は、地域包括ケアに取り組んでいます

水無瀬病院では、病気の治療や健康管理、看護やリハビリテーション、適切な介護・福祉サービスの情報を通じて安心して自宅等で生活を継続できるよう支援しています。退院前には、自宅等での介護・福祉サービス提供者と可能な限り直接話し合い、患者さまの状態や、生活の様子などの情報共有を図り自宅での生活を安心して行えるよう取り組んでいます。今後も、皆様が、地域で安心して暮らし続けることができるよう、島本町の医療・福祉の発展に寄与していきたいと思っております。

「病院だより」



ひと夏の思い出・・・

夏の暑さのピークを迎えた8月2日(土)島本町立第一中学校にて例年通り「島本夏祭り」が開催されました。早いもので37回となるこのお祭りですがここ数年は訪れる人の数が増えてきており、会場いっぱい子どもたちの賑やかな笑い声に包まれました。

当日は雨の心配もありましたが日頃のおこないの良さと皆の願いが届いたのか雨も上がり、会場の熱気に後押しされ私達、清仁会グループも運営スタッフとして綿菓子、おもちゃ、UFO風船、ビール、ガラガラなどのお手伝いをしました。毎年お手伝いをしているためかスタッフも慣れた手つきで次々と綿菓子や風船を作り、さながら職人さんのようでした。



100円玉を大切に握りしめキラキラした笑顔で屋台を覗く子どもたちの姿がとても微笑ましく、私達のほうが元気づけられた一日となりました。

編集後記

まだまだ暑くて秋といわれても実感はありませんがカレンダー見て秋の訪れを感じる今日この頃です。島本町に住んで早いもので8年目になりました。振り返ってみてこの地域に住んでみてよかったことがあります。子どもたちが気持ちよく挨拶をしてくれることや思いやりのある行動を自然におこなえること、行政との心の距離が近く感じる事、なにより自然が多いことなどなど……。年数が経つことにますます島本町が好きになりました。私の勤める水無瀬病院は町内唯一の病院です。これからもますます地域の皆様に必要とされるように有り続けて、そこで働く私も頑張っていきたいと思っています。



広報委員会 本田

発行元： 医療法人 清仁会 水無瀬病院 広報委員会
〒618-0012 島本町高浜三丁目2番26号
Tel：075-962-5151 (代) Fax：075-961-5840 (代)
<http://minasehp.jp/>